

会 議 録

1 会議名

平成 27 年度第 1 回小林古径記念美術館運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

〔協議事項〕

- (1) 平成 27 年度事業実施状況について（公開）
- (2) 平成 28 年度事業計画案について（非公開）
- (3) 小林古径記念美術館増改築事業について（非公開）

〔報告事項〕

総合博物館改修事業について（非公開）

3 開催日時

平成 27 年 8 月 7 日（金）午後 3 時から

4 開催場所

小林古径邸 画室

5 傍聴人の数

0 人

6 非公開の理由

協議事項(2)、(3)および報告事項については、上越市審議会等の会議の公開に関する条例第 7 条第 4 号「意思形成過程情報」に該当するため、非公開

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：高橋信雄（委員長）、池田稔（副委員長）、川崎日香湊、齋藤弘、中條由美、松矢国憲、村山和夫
- ・事務局：中野教育長、中西文化行政課長、宮崎館長、阿部副館長、笹川係長、市川主任

8 発言の内容

（あいさつ）

（教 育 長）：昨年度、皆様方からのお力添えをいただき、古径の絶筆である「牡丹」のほか、関係資料を一括収集することができ、北陸新幹線開業記念として開催した「小林古径芸術へのいざない」で紹介させていただいた。今年度から小林古径記念美術館増改築事業がスタートし、今後もより一層、当市出身である小林古径の顕彰に努めるとともに、上越市の芸術文化事業について市内外に広くアピールしてまいりたい。委員の皆様からは館の運営や整備計画について、ぜひ忌憚のないご意見を賜りたい。

（高橋委員長）：北陸新幹線開業と高田開府 400 年が重なったというのは素晴らしい機会だったと感じる。さまざまな人が上越の歴史や文化を意識し関わることができた。これから上越市の交流人口を増やすために、上越の魅力について考える必要がある。新しい美術館・

博物館へと生まれ変わるというのは、上越市の歴史の中でもそうそうない機会に恵まれたということだ。どんな美術館を作っていったらいいのか。委員の皆様にはぜひ知恵を貸していただきたい。

(1) 協議事項「平成 27 年度事業実施状況について」(公開)

(笹川係長) : (資料にもとづき説明)

(高橋委員長) : 何かご意見やご質問はあるか。

(宮崎館長) : ティーチャーズ・デーを昨年度から実施している。参加した教員の皆さんからは満足いただいているが、人を集めることがなかなか難しい。そこで北城高校の中條先生にお伺いしたいのだが、教員にもっと関心をもってもらうためにどうすればよいかお知恵を拝借したい。

(中條委員) : 美術館と学校との連携は私たちもぜひ強化していきたいと考えているが、時間の関係もあって、授業の中ではなかなか取り上げにくいという現実がある。それならば、もっと小さい頃から美術館に段階的に親しめるような仕組みを作るべきだと思う。幼児期から美術館に足を運べるような環境があることが望ましいと考えている。

(宮崎館長) : このたび上越教育大学附属小学校の児童が美術館と古径邸のCMを作ってくれた。このようなユニークな試みが行われている中で、美術館を愛する子どもたちになってほしいと感じている。

(2) 協議事項「平成 28 年度事業計画案について」(非公開)

(3) 協議事項「小林古径記念美術館増改築事業について」(非公開)

(4) 報告事項「総合博物館改修事業について」(非公開)

(高橋委員長) : それではこれで議事を終了する。

(宮崎館長) : 本日はお忙しいところをお集まりいただきまして、感謝申し上げます。新しい委員の皆様からも加わっていただいた中で、多くのご意見を頂戴した。これを受けて、館の運営や新たな整備計画に生かしてまいりたい。

(阿部副館長) : 以上で運営委員会を終了する。

(終了)

9 問合せ先

小林古径記念美術館 TEL025-523-8680

E-mail : kokei@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。